|  |
| --- |
|  |
| 操作チュートリアル  時限ファイル管理者編 |
|  |



|  |
| --- |
| 第2版  2024/11/29 |

目次

[1. はじめに 1](#_Toc183441954)

[2. 時限ファイルとは 1](#_Toc183441955)

[3. 管理者による時限ファイルの設定 2](#_Toc183441956)

[3.1. システム全体で設定する 2](#_Toc183441957)

[3.2. プライマリグループごとに設定する 5](#_Toc183441958)

[3.3. ユーザーフォルダごとに設定する 8](#_Toc183441959)

[3.4. グループフォルダごとに設定する 11](#_Toc183441960)

[4. その他 15](#_Toc183441961)

[4.1. 自動削除されたファイル/フォルダの確認方法 15](#_Toc183441962)

[4.2. 「無期限ファイル」の許可 16](#_Toc183441963)

[4.3. 時限ファイル設定の優先順位 18](#_Toc183441964)

[4.4. 時限ファイルの自動削除タイミングにProselfが停止していた場合 18](#_Toc183441965)

[4.5. 時限ファイル設定変更時の注意点 19](#_Toc183441966)

[4.6. 時限ファイル設定と受取フォルダ設定が行われている場合の注意点 19](#_Toc183441967)

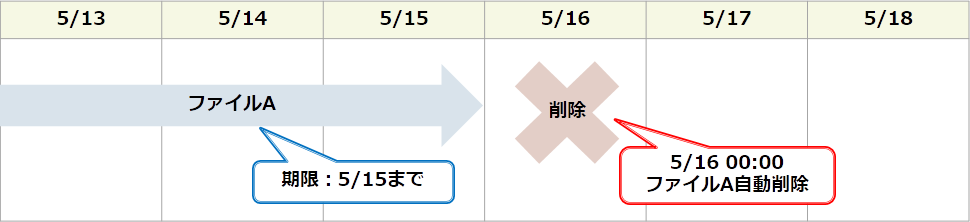
# はじめに

本書では、Proselfの時限ファイルについての設定方法を記載しています。是非最後までご一読ください。

# 時限ファイルとは

時限ファイルとは、期限を超えたファイル、フォルダを自動で削除する機能です。

時限ファイルが設定されたファイル、フォルダは期限を超えた翌日の0:00に自動で削除されます。



**自動削除イメージ**

標準出荷状態ではユーザーはファイル、フォルダに対して自由に時限ファイルの設定を行うことができます。

# 管理者による時限ファイルの設定

管理者はアップロードされたファイルに対する時限ファイルの自動設定や時限ファイルを設定しないファイルの保存を禁止(時限ファイル設定の強制)する設定を行うことで、ユーザーによるファイルの長期保存の抑止や、サーバーの空き容量不足を防ぐことができます。

また、システム全体、プライマリグループ、ユーザーフォルダ/グループフォルダに対して個別に設定することができます。

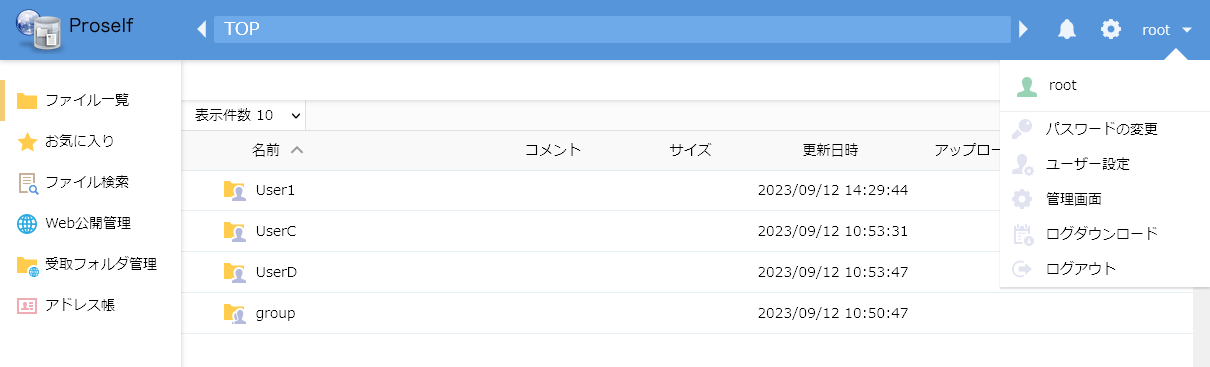
* プライマリグループはEnterprise Editionでのみ利用できます。
* システム全体、プライマリグループ、ユーザーフォルダ/グループフォルダに対する時限ファイルの設定には優先順位があります。詳細につきましては「[4.3.時限ファイル設定の優先順位](#_時限ファイル設定の優先順位_1)」をご参照ください。

次項よりそれぞれの設定について記載しております。

## システム全体で設定する

システム全体を対象とする場合は本項目の手順に沿って設定を行います。

Proselfにシステム管理者でログインし、「管理画面」を開きます。



**ユーザー画面**

管理画面より、「システム設定」をクリックします。



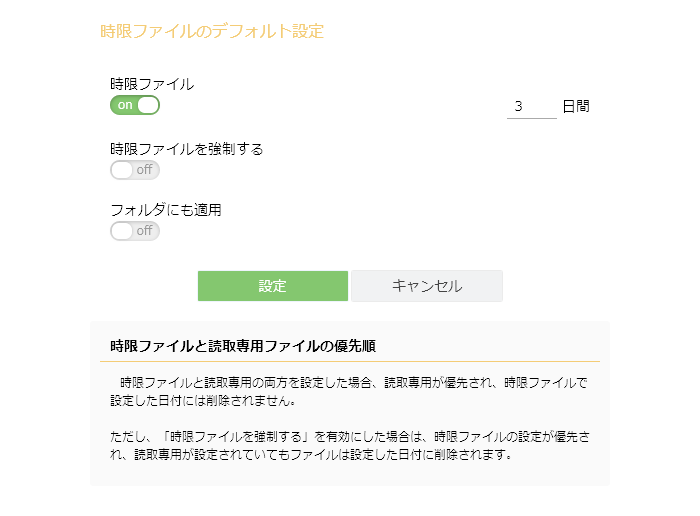
**管理画面**

「ユーザー・ファイル」より「時限ファイルのデフォルト設定」をクリックします。



**システム設定**

時限ファイルのデフォルト設定画面で各種設定を行います。



**時限ファイルのデフォルト設定画面**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 時限ファイル | システム全体で時限ファイル設定を使用するかどうかを設定します。ONで設定すると設定後にアップロードされたファイルに対して指定した日数後(※)の日付で時限ファイルが設定されます。   * アップロードした日を含みますため、3日間で設定した状態で5/13にファイルがアップロードされた場合は、5/15の日付で時限ファイルが設定されます。 |
| 時限ファイルを強制する | 時限ファイルを強制するかどうかを指定します。ONで設定すると、ユーザーが時限ファイルの設定を解除することができなくなります。また、ユーザーが時限ファイルの設定を変更する際、最初に設定された時限ファイルの日付よりも未来の日付を指定することができなくなります。   * 「期間」を3日間で設定している場合、5/13にアップロードされたファイルは5/15の日付で時限ファイルが設定されますが、ユーザーが変更できる日付の範囲が5/13～5/15に限定され、5/16以降を指定することができなくなります。 |
| フォルダにも適用 | フォルダに対して時限ファイルの設定を適用するかどうかを設定します。ONで設定すると、アップロードしたフォルダや新規に作成したフォルダにも自動で時限ファイルが設定されるようになります。 |

「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。

**時限ファイルと読取専用ファイルの優先順について**

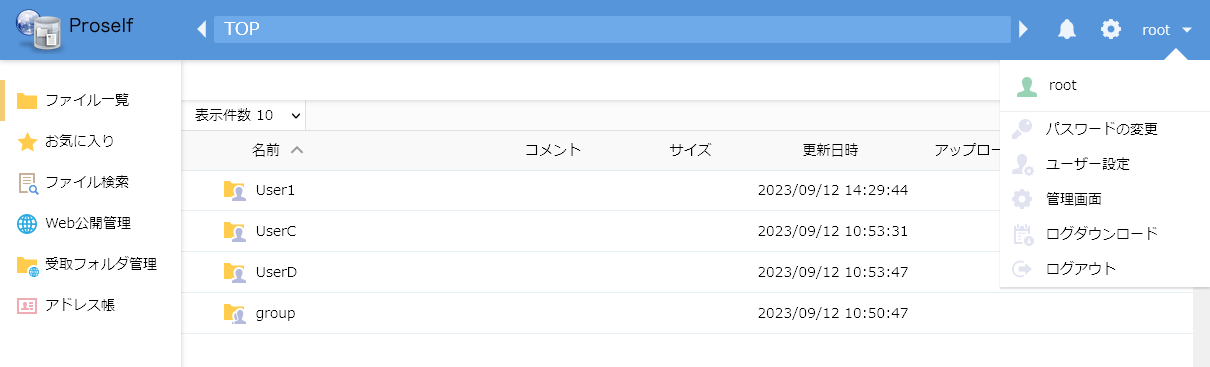
時限ファイルと読取専用の両方を設定した場合は読取専用が優先され、時限ファイルで設定した日数でファイルは削除されません。

ただし、「時限ファイルを強制する」をONにした場合は時限ファイルの設定が優先され、読取専用が設定されていてもファイルは設定した日付に削除されます。

## プライマリグループごとに設定する

特定のプライマリグループを対象とする場合は本項目の手順に沿って設定を行います。

Proselfにシステム管理者でログインし、「管理画面」を開きます。



**ユーザー画面**

管理画面より、「グループ管理」をクリックします。



**管理画面**

グループ管理より「新規プライマリ」または既存のプライマリグループ名をクリックします。



**グループ管理画面**

新規プライマリグループ作成(プライマリグループ更新)画面より「フォルダオプション」をクリックします。



**新規プライマリグループ作成**

「時限ファイル期限の強制」で各種設定を行います。



**新規プライマリグループ作成**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 設定プルダウンリスト | プライマリグループ配下のユーザーフォルダ/グループフォルダにアップロードされるファイルに対する時限ファイル期限の強制設定を行います。    以下より選択可能です。  **・システム設定を優先**  「[3.1.システム全体で設定する](#_時限ファイル設定手順（システム全体）)」で設定した内容が反映されます。  プライマリグループ作成時は本項目が初期値として選択されています。  **・設定**  「[3.1.システム全体で設定する](#_時限ファイル設定手順（システム全体）)」と異なる内容を設定する場合に選択します。  本項目を選択しますと、プライマリグループに所属するユーザー、グループフォルダ配下にアップロードされた全てのファイルに対して指定した日数後(※)の日付で時限ファイルが設定されます。   * アップロードした日を含みますため、3日間で設定した状態で5/13にファイルがアップロードされた場合は、5/15の日付で時限ファイルが設定されます。   また、ユーザーが時限ファイルの設定を解除することができなくなることに加え、最初に設定された日付よりも未来の日付を指定することができなくなります。   * 「期間」を3日間で設定している場合、5/13にアップロードされたファイルは5/15の日付で時限ファイルが設定されますが、ユーザーが変更できる日付の範囲は5/13～5/15に限定され、5/16以降を指定することができなくなります。   **・無期限**  プライマリグループに所属するユーザー、グループフォルダ配下にアップロードされる全てのファイルに対して時限ファイルを設定しない場合に選択します。 |
| フォルダにも適用 | フォルダに対して時限ファイルの設定を適用するかどうかを設定します。チェックを入れると、アップロードしたフォルダや新規に作成したフォルダにも自動で時限ファイルが設定されるようになります。 |

設定後、画面左上の「戻る」をクリックして新規プライマリグループ作成(プライマリグループ更新)画面に移動し、画面左上の「作成(更新)」をクリックして設定を保存します。

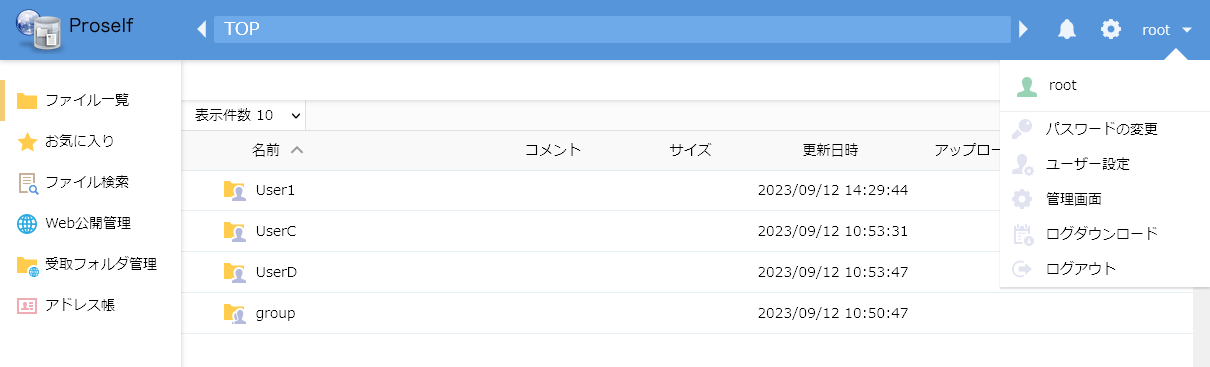


**新規プライマリグループ作成**

## ユーザーフォルダごとに設定する

特定のユーザーを対象とする場合は本項目の手順に沿って設定を行います。

Proselfにシステム管理者でログインし、「管理画面」を開きます。



**ユーザー画面**

管理画面より、「ユーザー管理」をクリックします。



**管理画面**

ユーザー一覧より「新規」または既存のユーザー名をクリックします。



**ユーザー一覧**

ユーザーフォルダの「作成する」チェックボックスをチェックし、「フォルダオプション」をクリックします。



**新規ユーザー登録**

「時限ファイル期限の強制」で各種設定を行います。



**新規ユーザー登録**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 設定プルダウンリスト | ユーザーフォルダにアップロードされるファイルに対する時限ファイル期限の強制設定を行います。以下より選択可能です。    **・プライマリG/システム設定を優先**  「[3.1.システム全体で設定する](#_時限ファイル設定手順（システム全体）)」または「[3.2.プライマリグループごとに設定する](#_時限ファイル設定手順（プライマリグループ）)」で設定した内容が反映されます。  ユーザー作成時は本項目が初期値として選択されています。   * Standard Editionでは「システム設定を優先」が表示されます。   **・設定**  「[3.1.システム全体で設定する](#_時限ファイル設定手順（システム全体）)」、「[3.2.プライマリグループごとに設定する](#_時限ファイル設定手順（プライマリグループ）)」と異なる内容を設定する場合に選択します。  本項目を選択しますと、ユーザーフォルダ配下にアップロードされた全てのファイルに対して指定した日数後(※)の日付で時限ファイルが設定されます。   * アップロードした日を含みますため、3日間で設定した状態で5/13にファイルがアップロードされた場合は、5/15の日付で時限ファイルが設定されます。   また、ユーザーが時限ファイルの設定を解除することができなくなることに加え、最初に設定された日付よりも未来の日付を指定することができなくなります。   * 「期間」を3日間で設定している場合、5/13にアップロードされたファイルは5/15の日付で時限ファイルが設定されますが、ユーザーが変更できる日付の範囲は5/13～5/15に限定され、5/16以降を指定することができなくなります。   **・無期限**  ユーザーフォルダ配下にアップロードされる全てのファイルに対して時限ファイルを設定しない場合に選択します。 |
| フォルダにも適用 | フォルダに対して時限ファイルの設定を適用するかどうかを設定します。チェックを入れると、アップロードしたフォルダや新規に作成したフォルダにも自動で時限ファイルが設定されるようになります。 |

設定後、画面左上の「戻る」をクリックして新規ユーザー登録(ユーザー更新)画面に移動し、画面左上の「作成(更新)」をクリックして設定を保存します。

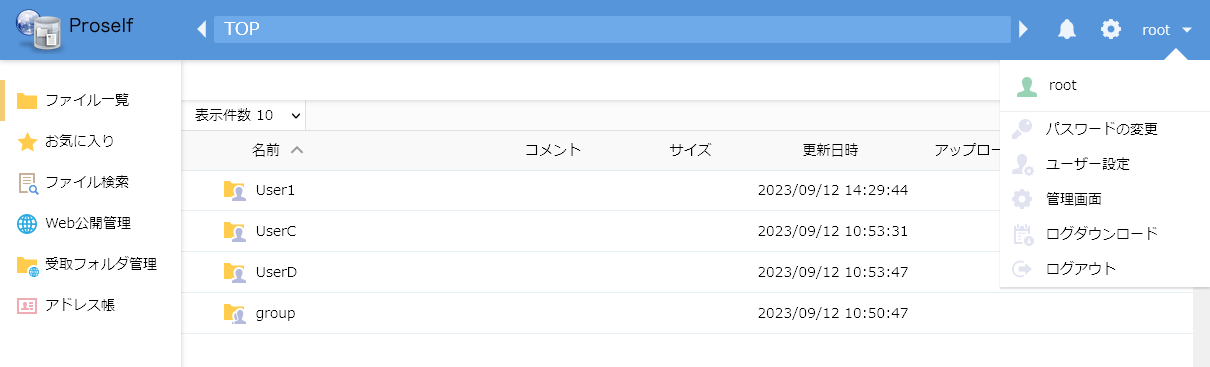


**新規ユーザー登録**

## グループフォルダごとに設定する

特定のグループを対象とする場合は本項目の手順に沿って設定を行います。

Proselfにシステム管理者でログインし、「管理画面」を開きます。



**ユーザー画面**

管理画面より、「グループ管理」をクリックします。



**管理画面**

グループ一覧より「新規」または既存のグループ名をクリックします。



**グループ管理画面**

グループフォルダの「作成する」チェックボックスをチェックし、「フォルダオプション」をクリックします。



**新規グループ作成**

「時限ファイル期限の強制」で各種設定を行います。



**新規グループ作成**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 設定プルダウンリスト | グループフォルダにアップロードされるファイルに対する時限ファイル期限の強制設定を行います。以下より選択可能です。    **・プライマリG/システム設定を優先**  「[3.1.システム全体で設定する](#_時限ファイル設定手順（システム全体）)」または「[3.2.プライマリグループごとに設定する](#_時限ファイル設定手順（プライマリグループ）)」で設定した内容が反映されます。   * Standard Editionでは「システム設定を優先」が表示されます。   **・設定**  「[3.1.システム全体で設定する](#_時限ファイル設定手順（システム全体）)」、「[3.2.プライマリグループごとに設定する](#_時限ファイル設定手順（プライマリグループ）)」と異なる内容を設定する場合に選択します。  本項目を選択しますと、グループフォルダ配下にアップロードされた全てのファイルに対して指定した日数後(※)の日付で時限ファイルが設定されます。   * アップロードした日を含みますため、3日間で設定した状態で5/13にファイルがアップロードされた場合は、5/15の日付で時限ファイルが設定されます。   また、ユーザーが時限ファイルの設定を解除することができなくなることに加え、最初に設定された日付よりも未来の日付を指定することができなくなります。  ※「期間」を3日間で設定している場合、5/13にアップロードされたファイルは5/15の日付で時限ファイルが設定されますが、ユーザーが変更できる日付の範囲は5/13～5/15に限定され、5/16以降を指定することができなくなります。  **・無期限**  グループフォルダ配下にアップロードされる全てのファイルに対して時限ファイルを設定しない場合に選択します。 |
| フォルダにも適用 | フォルダに対して時限ファイルの設定を適用するかどうかを設定します。チェックを入れると、アップロードしたフォルダや新規に作成したフォルダにも自動で時限ファイルが設定されるようになります。 |

設定後、画面左上の「戻る」をクリックして新規グループ作成(グループ更新)画面に移動し、画面左上の「作成(更新)」をクリックして設定を保存します。



**新規グループ作成**

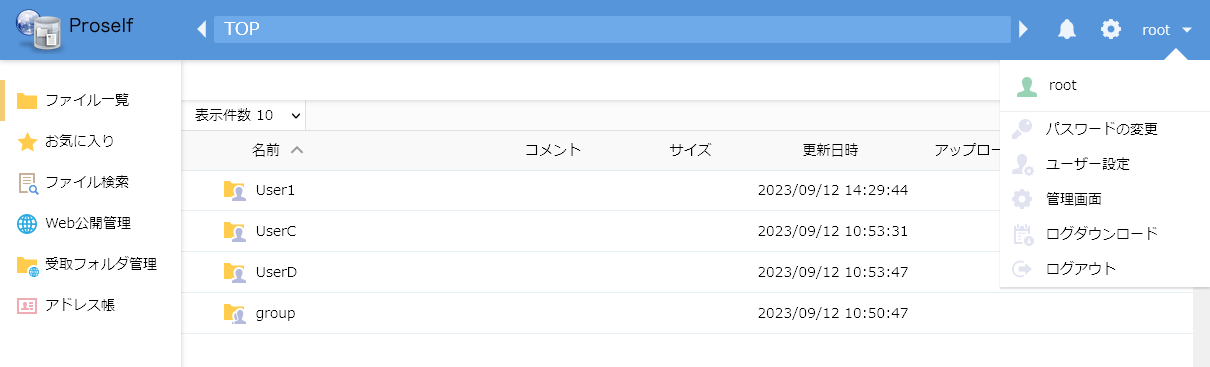
# その他

## 自動削除されたファイル/フォルダの確認方法

本機能によりファイル/フォルダが自動削除された際にはログが出力されます。

以下ではログの確認手順について記載しております。

Proselfにシステム管理者でログインし、「管理画面」を開きます。



**ユーザー画面**

管理画面より、「ログ情報」をクリックします。



**管理画面**

ログイン状況画面より「ログダウンロード」をクリックします。



**ログイン状況**

ログのダウンロード画面より「ファイル操作ログ」行にある「ダウンロード」をクリックしてファイル操作ログをダウンロードします。



**ログのダウンロード**

時限ファイルによって自動削除されたファイル、フォルダについては以下内容で出力されます。

|  |
| --- |
| "2024/05/18 00:00:02","","(TOP)","","","","ファイル削除（自動処理）","","/User1/docA.docx",""  "2024/05/18 00:00:02","","(TOP)","","","","フォルダ削除（自動処理）","","/User1/folder","" |

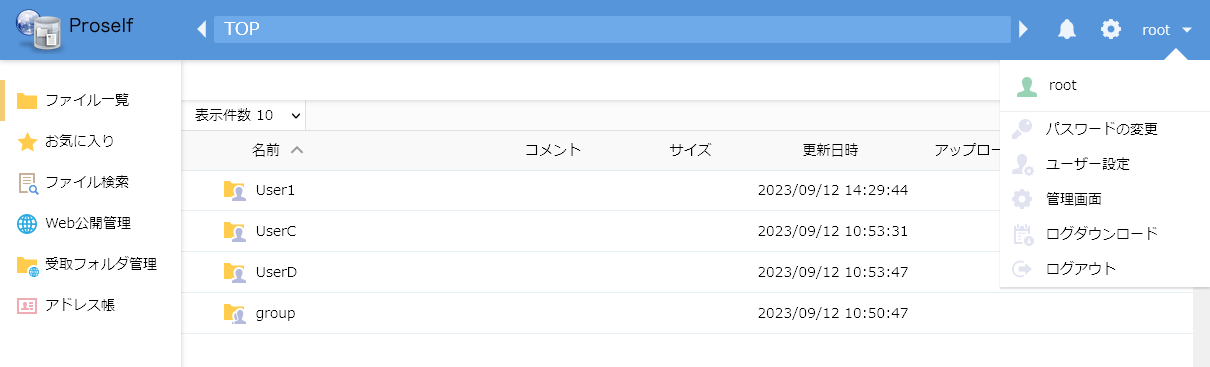
**ログ出力の例**

## 「無期限ファイル」の許可

ユーザーに対して「無期限ファイル」の許可を与えることで、「[3.1.システム全体で設定する](#_システム全体で設定する)」、「[3.2.プライマリグループごとに設定する](#_プライマリグループごとに設定する)」、「[3.3.ユーザーフォルダごとに設定する](#_ユーザーフォルダごとに設定する)」、「[3.4.グループフォルダごとに設定する](#_グループフォルダごとに設定する)」の設定内容に関係なく、そのユーザーがアップロードするファイル、フォルダには時限ファイルが設定されなくなります。

* 手動での時限ファイル設定は可能です。

Proselfにシステム管理者でログインし、「管理画面」を開きます。



**ユーザー画面**

管理画面より、「ユーザー管理」をクリックします。



**管理画面**

ユーザー一覧より「新規」または既存のユーザー名をクリックします。



**ユーザー一覧**

「許可」より「無期限ファイル」のチェックボックスにチェックを入れた上で作成/更新を行います。



**新規ユーザー登録**

## 時限ファイル設定の優先順位

時限ファイルの設定には優先順位があり、以下の優先順位に沿って設定が適用されます。

1. ユーザーフォルダ/グループフォルダ
2. プライマリグループ
3. システム全体

上記優先順により以下のような運用を行うことが可能です。

**システム全体で時限ファイルを設定するが、特定のプライマリグループには時限ファイルを設定しない**

以下設定となっている場合はシステム全体の設定が適用され、設定後にプライマリグループ配下のユーザーフォルダにアップロードするファイル/フォルダには時限ファイルの期間に30日間が設定されます。

* システム全体：30日間
* 特定プライマリグループ：設定しない

**システム全体で時限ファイルは設定しないが、特定のユーザーには時限ファイルを設定する**

以下設定となっている場合はユーザーの設定が適用され、設定後にユーザーフォルダにアップロードするファイル/フォルダには時限ファイルの期間に10日間が設定されます。

* システム全体：設定しない
* 特定ユーザー：10日間

## 時限ファイルの自動削除タイミングにProselfが停止していた場合

通常、時限ファイルが設定されたファイル/フォルダは指定された日付の翌日の00:00に自動削除されますが、サーバーのメンテナンス等の理由で自動削除のタイミングにProselfが停止していた場合は、Proself起動後15分毎(毎時0分、15分、30分、45分)に行われる処理で自動削除されます。

## 時限ファイル設定変更時の注意点

時限ファイル設定を変更した場合は以下の点にご注意ください。

* 時限ファイルを有効にした後にユーザーがアップロードしたファイル/フォルダ、新規作成したフォルダに対してのみ時限ファイルが自動設定されます。設定前に配置されていたファイル/フォルダについては時限ファイルが自動設定されませんので、手動で設定する必要があります。
* 時限ファイルの期間を変更した場合、変更後にアップロードしたファイル/フォルダ、新規作成したフォルダに対してのみ変更後の期間が反映されます。変更前に期間が設定されていたファイル/フォルダの期間については変更されませんのでご注意ください。

## 時限ファイル設定と受取フォルダ設定が行われている場合の注意点

「[3.1.システム全体で設定する](#_システム全体で設定する)」、「[3.2.プライマリグループごとに設定する](#_プライマリグループごとに設定する)」、「[3.3.ユーザーフォルダごとに設定する](#_ユーザーフォルダごとに設定する)」、「[3.4.グループフォルダごとに設定する](#_グループフォルダごとに設定する)」の設定によってアップロードされるファイルに対して自動で時限ファイルが設定される場合、受取フォルダに対してアップロードされるファイルも対象となります。